



(一社)日本福祉のまちづくり学会

第19回 全国大会(函館) プログラム

2016.8.5(金)~7(日)

◆主会場:函館アリーナ

[主催]

(一社)日本福祉のまちづくり学会

[後援]

内閣府、文部科学省、厚生労働省、経済産業省、国土交通省、
北海道、函館市、(一社)日本建築学会、(公社)土木学会、日本生活支援工学会、
(一財)国際ユニヴァーサルデザイン協議会IAUD、
(公社)日本都市計画学会、(公財)交通エコロジー・モビリティ財団、
(一社)日本リハビリテーション工学協会、
(一財)国土技術研究センター、(一社)日本人間工学会、(一社)日本社会福祉学会、
(一社)北海道開発技術センター、(一社)シーニックバイウェイ支援センター

[協賛]

(株)ドーコン、株式会社近代設計、株式会社構研エンジニアリング、
株式会社ジーティーアドバンス、株式会社高橋組、株式会社北海道グリーンメンテナンス、
株式会社キクテック、パシフィックコンサルタンツ株式会社北海道支社、
北海道コカ・コーラボトリング株式会社、
有限会社サクラ工芸



CONTENTS

あいさつ	2
大会・研究発表プログラム	3
市民公開シンポジウム	4
発表プログラム	5
開催概要	14
研究討論会	20
実行委員名簿	24



あいさつ

日本初のフランス築城方式の星型要塞である五稜郭を始め、赤レンガ街、夜景スポットなどの観光都市函館での「日本福祉のまちづくり学会」全国大会を北海道支部の方々の努力や地元の協力などにより開催する運びとなりました。

また、誰もが楽しめる映画祭を行っており、今回の学会でも上映が計画されています。

学会開催につきましては、8月5～7日の3日間の開催で約300人程度の参加となります。特徴的なのは、8月5日に開催する「地域福祉交通を取り巻く状況」のシンポジウムの開催やユニバーサル上映映画祭です（2016年度の国土交通省パリアフリー化推進功労者大臣表彰を受けた「島信一郎・北海道ユニバーサル上映映画祭実行委員会」による）。6～7日は論文の発表の他に研究討論会では、①資格試験～差別解消、②「情報」は地域公共交通を変革するか、③国際空港の情報提供、④新しいモビリティがみせる未来、⑤障害者虐待防止法、などにより最近の話題が提供されます。

以上の3日間、多様な人との交流や意見交換が行われ、皆さんの知的好奇心を満たしてくれることを期待しています。



(一社)日本福祉のまちづくり学会 会長

秋山 哲男

(中央大学研究開発機構 教授)



(一社)日本福祉のまちづくり学会

第19回大会 大会長

葦澤 憲吉

(函館工業高等専門学校名誉教授)

日本福祉のまちづくり学会の第19回全国大会が、北海道の函館市で開催されることで、とてもありがたいことです。

函館の歴史には、江戸時代から国際自由貿易港で国際港湾都市となって、五稜郭の建設や、近代水道施設の完成もあり、北海道の玄関都市の役割で青函連絡船の運航から青函トンネル建設の鉄道時代になって、2016年に北海道新幹線の開業になりました。これを函館にとって第二の開港という表現もあって、新たな時代の幕開けに期待しています。

北海道新幹線の新幹線車両や新函館北斗駅では、ユニバーサルデザインを基本にしております。

これまで函館市内の旧市街の西部地区の道路や坂道では、安全安心で移動が可能になる設置をしていて、福祉につながっています。

今回の学会の全国大会では、各地から北海道新幹線などで函館市に来られたら、函館市内の環境を見ていただき、福祉のまちづくりのご指導をして下されば、ありがたく御礼をさせていただきます。

🕒 大会・研究発表プログラム

	時 間	開催内容
8/5 (金) 【会場】 函館 市民会館 3F 小ホール	13:30~13:50	開会挨拶、学会賞授賞式
	13:55~15:50	市民公開シンポジウム
	16:00~17:35	ユニバーサル上映映画会
	18:00~	見学会
8/6 (土) 【会場】 函館アリーナ サブアリーナ	9:30~15:00	コメンテーター付き論文発表【MC1~3、SC1~3】、 研究発表【MS1~3、SS1~3】
	15:30~17:00	研究討論会【1.2.3.4】
	18:30~	交流会(会場:花びしホテル)
8/7 (日) 【会場】 函館アリーナ サブアリーナ	9:30~11:00	研究討論会【5】
	12:30~16:45	研究発表【MA4A~5A、MS4B~6B、SS4B~6B、SS4A~6A】
	18:00~	市電シネマ

📍 展示・休憩スペース

	時 間	展示企業
8/6・7 (土)(日) 【会場】 函館アリーナ サブアリーナ (武道館)	8月6日(土) 9:30~18:00	株式会社キフテック
		錦城護謨株式会社
		グループリビング運営協議会
	8月7日(日) 9:30~17:30	国際航業株式会社
		田島ルーフィング株式会社

※五十音順



市民公開シンポジウム

8/5
金

会場：函館市市民会館 3F 小ホール

去る3月に北海道新幹線が開業して北海道にも新幹線時代が到来しました。また、もともと函館市には市電、バス、フェリー、空港など、道内のどの都市よりも多様な公共交通機関が整備されています。

このような公共交通機関は、高齢者にも、障がい者にも、観光客にも、だれにでも使いやすいものでなくてはなりません。課題は少なくありません。課題解決のためには交通機関やインフラのバリアフリー化だけでなく、地域住民や企業の意識、姿勢の問題も含めた「福祉のまちづくり」としての視点が求められています。本シンポジウムでは、一般社団法人日本福祉のまちづくり学会第19回全国大会の函館開催を契機として、市民や企業の皆様とともに「移動(公共交通)」と「福祉のまちづくり」を考える機会としたいと思います。

13:30 開会挨拶 (一社)日本福祉のまちづくり学会 会長 秋山 哲男

13:30~13:50 学会賞授賞式

13:55~15:50 市民公開シンポジウム 主催:国土交通省北海道運輸局、(一社)日本福祉のまちづくり学会

▶ 話題提供

茨城大学 工学部 都市システム工学科 教授 山田 稔氏
「地域福祉交通を取り巻く状況」

テーマ 公共交通と福祉のまちづくり

▶ トークセッション

コーディネータ:山田 稔氏(同上)

パネリスト:折谷 久美子氏

(NPO法人スプリングボードユニティ21理事長)

島 信一朗氏

(一般社団法人函館視覚障害者福祉協議会理事長)

北林 亨氏

(一般社団法人南北北海道福祉ハイヤー協会代表理事)

船山 令長氏

(国土交通省北海道運輸局交通政策部消費者行政・情報課 課長)

16:05~17:35 ユニバーサル上映映画会

劇映画「RISE UP-ライズアップ-」(中島良監督/2009年/84分/日本)

主演:林遣都 (ミュージックサイン[予定]・日本語字幕・音声ガイド付き)

18:00~ 見学会(西部地区街歩きと函館山見学)

今回の函館見学散策コースはこの時期ならではの「港祭り」の終日ということで、電車から降りたあと、一駅分「歩行者天国」を楽しみながら進み、バスで函館西部地区の坂の中腹まで参ります。そこでガイドと合流し、夕暮れから、ライトアップされる函館元町のきらめきを感じながら「夜の教会ロマンティックコース」を進みます。色々な国の教会・寺院が隣接した道を、歴史的な背景、雰囲気を楽しみながらロープウェイのりばまで、ゆっくりと散策いたします。

コーディネータ・パネリスト紹介



コーディネータ

茨城大学 工学部 都市システム工学科 教授

山田 稔 氏

1958年生まれ。1980年3月 福井大学工学部建設工学科 卒業。1987年12月大阪大学大学院工学研究科土木工学専攻博士後期課程修了工学博士取得。2014年より現職。土木学会土木計画学研究委員会「移動権の考え方に基づく移動環境の整備・評価に関する研究小委員会」委員長(2012年度～)、国土交通省総合政策局「公共交通機関バリアフリーガイドライン検討委員会」委員(2012年度)、各区市のバリアフリー計画策定委員会委員長、公共交通関係の委員会委員長等、福祉有償運送運営協議会会長など公職多数。



パネリスト

NPO法人スプリング
ボードユニティ21
理事長
折谷 久美子 氏

1999年、女性や市民が気軽にまちづくりに参加できるようにと活動開始、2004年法人認証。障害のある方もない方も一人一人、力を合わせて温かい人間関係を育みことで、自ら考え努力し目標に向かって乗り越えていく事を目指す。函館をフィールドとして道路や港、観光、教育、福祉などで、人と人の心が通う住民参加によるまちづくり活動を実施している。



パネリスト

(一社)函館視覚障害者
福祉協議会
理事長
島 信一朗 氏

1991年4月、札幌にて大学在学中に交通事故で両目を失明。平成15年、障害健常を問わず誰もが共に生きる社会を目指す「インクルーシブ友の会」を発定。2006年からは、北海道ユニバーサル上映映画祭実行委員会代表等、ユニバーサルな観点から、誰もが生きがいを持ちながら地域で自分らしく暮らし続けることのできる社会づくりを実践する。現在は、障害当事者団体の役員を務めながら、障害者理解を広めるための様々な講演活動や市内の大学講師として講義を行う。



パネリスト

(一社)南北海道福祉
ハイヤー協会
代表理事
北林 亨 氏

1962年北斗市(旧上磯町)生まれ。北海道函館工業高校卒業後、函館市内の企業に就職後結婚、子供が生まれてからも北斗市に住み続け、子供の小、中学校のpta会長をはじめ地域活動やボランティアに積極的に参加。現在、(株)おしま福祉介護ハイヤーを設立、その後、2014年(一社)南北海道福祉ハイヤー協会を設立、代表理事に就任。昨年11月日本福祉医療輸送機構(本部、東京)の理事として、事業者の資質向上や高齢者、障がい者の方々の移動手段として日々努力している。



パネリスト

国土交通省北海道運輸局
交通政策部消費者行政・情報課
課長
松山 令長 氏

2001年より、国土交通省大臣官房人事課に入省。2015年4月より現職。国におけるバリアフリー施策の推進を行う。バリアフリー基本構想策定に向け、道内各市町村へ赴き基本構想策定に関するアドバイスや協議会に参加するなど、積極的に活動を行っている。また、小学生や交通事業者等を対象として、各地でバリアフリー教室を開催し、車いすの取扱いや、白杖を使用した視覚障がい者の疑似体験等を通じて、「心のバリアフリー」の推進活動も行っている。



発表プログラム

8月6日(土) 9:30~12:15

時 間	発表順	多目的 会議室1	多目的会議室2	多目的会議室3・4
9:30~ 10:45	セッション名 座長名	事務局	MC1:暮らしと地域a コメンテーター: 岡 正彦(東北福祉大学)	MS1:建築・住環境整備1 座長: 室崎 千重(奈良女子大学)
	1		高齢者の暮らしを支える自助・互助・共助・公助 ~竹富町波照間島をフィールドとして~ 神吉 優美	イギリスにおけるコミュニティケアと住宅政策について~地域包括ケアシステムにおける住まいの可能性~ 丹羽 太一
	2		地域をフィールドとした社会福祉士演習 ~授業とNPOの協働実践~ 西川 ハナナ	知的・発達障害のある人たちの作業環境に関する研究~清掃作業時の自立を促す床面デザインの検証~ 西村 颯
	3		地方都市の中心地区と周辺地区での食料品購買機会の格差とその要因 四辻 裕文	小径木材とアルミ製ジョイントを使った福祉用具の開発研究 繁成 剛
	4			高齢者介護施設における食事姿勢と椅子に関する考察 岡瀬 樹省
	5			高齢者・障害者の引戸における出入り動作の研究 高橋 未樹子
休憩(15分)				
11:00~ 12:15	セッション名 座長名	事務局	MC2:暮らしと地域b コメンテーター: 狩野 徹(岩手県立大学)	MS2:建築・住環境整備2 座長: 川内 美彦(東洋大学)
	1		郊外住宅団地における高齢者の居住継続を可能とする地域形成 難波 健	聴覚障害者の自己発声音に関する研究 -その1 意識調査のアンケート- 今井 計
	2		肢体不自由者向けグループホーム及び共同住居の住環境に関する研究 山田 義文	聴覚障害者の「自己発声音」に関する研究 -その2 評価実験- 福島 愛未
	3			オストメイトの方が使用するトイレ設備の利用実態調査 熊澤 宏夫
	4			公営住宅の自立車椅子利用者向け住戸におけるキッチンの使用実態と課題 室崎 千重
	5			重症心身障害児グループホームでの生活実態に関する調査 牛木 彩子
休憩・昼食(90分)				

時 間	発表順	スタジオ1・2	スタジオ3	スタジオ4
9:30~ 10:45	セッション名 座長名	SS1:移動・外出1 座長: 柳原 崇男(近畿大学)	SC1:子育てまちづくり コメンテーター: 高橋 備平(東洋大学)	事務局
	1	七沢更生ライトホームの歩行訓練の効果(2) ～視野狭窄と歩行訓練到達度の関係に ついて～ 矢部 健三	子ども連れ世帯の保育送迎時に着目した 移動負担状況に関する研究 明渡 隆浩	
	2	車いす乗車者に対する照り返し熱の 簡易測定・評価に関する研究 土川 忠浩	保育園を利用する夫婦の育児と家事の 役割分担に関する研究 青野 貞康	
	3	後期高齢者のADLと負荷に関する 研究後期高齢者の基礎体力と歩行能力に 関する研究 久保 雅義	子育てに関するマーク・サインの認知度 ～公共空間におけるシンボルマークに 関する研究～ 植田 瑞昌	
	4	歩きスマホで歩容はどう変化するのか ～三次元動作解析装置を用いた歩行解析～ 徳田 良英		
	5	階段歩行時の注視位置に関する 人間工学的研究 西岡 基夫		
休憩(15分)				
11:00~ 12:15	セッション名 座長名	SS2:移動・外出2 座長: 樋口 恵一(豊田都市交通研究所)	SC2:移動交通まちづくり コメンテーター: 鎌田 実(東京大学大学院)	事務局
	1	大都市郊外のニュータウンにおける 高齢者等の移動実態調査 高橋 徹	車イス使用者の乗合バス利用時における バリアに関する調査分析 三浦 可菜	
	2	豊田市における障がい者の移動の実態と 課題～福祉有償運送の現場から～ 野下 浩平	視覚障害者の無人駅および駅員巡回駅の 利用状況に関する研究 大森 清博	
	3	下肢障害者の自転車による交通手段の 多様化のプロセスに関する考察 土橋 善人	潜在能力の計測手法の整理および地域 公共交通計画への潜在能力アプローチの 応用可能性 四辻 裕文	
	4	高齢者の運転免許返納に関する自由記述 分析による日常生活変化への不安 野田 宏治	要介護者の移動確保を図るための介護 タクシーの運用方法に関する研究 ～千葉県を例として～ 藤澤 大貴	
	5	地域交通政策づくりを「交通まちづくり 基本条例」制定で実現しよう 土居 靖範		
休憩・昼食(90分)				



発表プログラム

8月6日(土) 13:45~17:00

時 間	発表順	多目的 会議室1	多目的会議室2	多目的会議室3・4
13:45~ 15:00	セッション名 座長名	事務局	MC3:公共空間・施設・人間工学 コメンテーター: 北川 博巳(兵庫県立福祉のまちづくり研究所)	MS3:建築・住環境整備3 座長: 阪東 美智子(国立保健医療科学院)
	1		触覚フィードバックがもたらすタッチパネル 操作改善の研究—視覚障害者・聴覚障害者 に対する操作に連動する触覚技術の検証— 久保 雅隆	非言語を基調とした音響案内による 公共トイレの男女識別の可能性に関する 基礎的検討 原 利明
	2		市民意識からみた健康まちづくり プロジェクトの基盤形成 秋山 孝正	眼科専門病院における音を用いた ユニバーサルデザインの導入 井上 賢治
	3		高速道路休憩施設の多機能トイレの 利用実態分析に関する研究 筆記 伸一	眼科専門病院における光を用いた ユニバーサルデザインの導入 千葉 マリ
	4			2便所トイレにおける機能配置の研究 —小規模施設トイレのバリアフリー化 促進を目指して— 河野 裕之
	5		車いす使用者のサイトラインに関する研究 川内 美彦	
休憩(30分)				
15:30~ 17:00	研究討論会	事務局	研究討論会 1	研究討論会 2
			「資格試験—差別解消に向けて」 (各種国家資格試験での障害者特別措置 に関する特別研究委員会)	「情報」は地域公共交通を変革するか (地域福祉交通特別研究委員会)
18:30~交流会(花びしホテル)				

8/6
(土曜日)
PM

時 間	発表順	スタジオ1・2	スタジオ3	スタジオ4
13:45~ 15:00	セッション名 座長名	SS3:移動・外出3 座長: 磯部 友彦(中部大学)	SC3:障害理解 コメンテーター: 小山 聡子(日本女子大学)	事務局
	1	ビデオ通話を用いた視覚障がい者の移動支援の有効性に関する研究 柳原 崇男	高齢者疑似体験で障がいを持つ高齢者への理解は深まるのか?—第2報— 井手 将文	
	2	車イス利用者の乗合バス乗降・乗車中の心理的バリアに関する実態調査 樋口 恵一	心のバリアフリー行動マニュアルに基づく「気づき」の実践的な取り組み評価に関する研究—千葉県市原市の取り組み— 藤井 敬宏	
	3	車椅子利用者の旅客機と鉄道の利用方法と工夫 松尾 清美	知的障害のある人たちと取り組むまちづくり協働研究の試み 森口 弘美	
	4	域内近距離移動にゴルフカートの活用 鎌田 実		
	5	高齢者用パーソナルモビリティの実用化に関する検討 李 虎奎		
休憩(30分)				
15:30~ 17:00	研究討論会	研究討論会3	研究討論会4	事務局
		国際空港における移動のための情報提供のあり方を考える—2020年東京オリンピック・パラリンピック開催に向けて—(身体と空間特別委員会)	新しいモビリティがみせる未来(北海道支部)	
18:30~交流会(花びしホテル)				



発表プログラム

8月7日(日) 9:30~13:45

時間	発表順	多目的 会議室1	多目的会議室2	多目的会議室3・4
9:30~ 11:00		事務局		研究討論会5
				障害者虐待防止法運用の現状と今後 —障害者差別解消法が施行された年に—
休憩・昼食(90分)				
12:30~ 13:45	セッション名 座長名	事務局	MS4A:教育・人材育成1 座長: 藤井 敬宏(日本大学)	MS4B:案内・誘導・情報バリアフリー 座長: 古瀬 敏(フリーランス)
	1		障害者の就労支援事業の好事例研究 池田 千登勢	多様な色覚の人への見分けやすさに 配慮したカラーユニバーサルデザイン 推奨配色セット第4版の開発 伊藤 啓
	2		地域ケアシステムの構築に向けた 高齢者の居場所づくり —名古屋市におけるケーススタディー— 宮崎 幸恵	中国人と日本人のピクトグラムの認知度に関 する研究 吉野谷 友希
	3		地域居住継続のための高齢者グループ リビング運営に関する研究 土井原 奈津江	輝度画像を用いた聴覚者低視力者の 視認性評価 岩田 三千子
	4		保育園における障がい児の受け入れの 現状と課題—保育形態と環境整備に 関するアンケート調査— 橋本 彼路子	駅の視覚障害者誘導用ブロックに使うため の輝度コントラスト測定マニュアルの作成 大野 央人
	5			視覚障がい者を対象とした横断歩道口 発光ブロックの受容性の評価 田端 大嵩
休憩(15分)				

8/7
(日曜日)
AM

時 間	発表順	スタジオ1・2	スタジオ3・4
9:30~ 11:00	1		
	2		
	3		
	4		
	5		
休憩・昼食(90分)			
12:30~ 13:45	セッション名 座長名	SS4B:地域社会・生活支援1 座長: 秋山 孝正(関西大学)	SS4A:交通とユニバーサルデザイン 座長: 秋山 哲男(中央大学研究開発機構)
	1	ICTを活用した高齢者専健康増進ビジネスの 市場動向に関する研究 鈴木 義康	大田区におけるバリアフリー基本構想の推進に おける課題 三浦 春菜
	2	コミュニティの活性化に向けた協働まちづくり に関する考察 仁科 信春	利用者視点による大阪市弁天町地区 バリアフリー基本構想の評価 細江 太郎
	3	地域包括型住民自治組織の実態と課題 ー広島県呉市まちづくり委員会・協議会を事例にー 山岡 俊一	オリンピック・パラリンピック開催に向けた移動と 交通に関する利用者意識調査 澤田 大輔
	4	障害を理由とする差別の解消の推進に関する 地方公共団体職員対応要領の作成過程に関する 考察ー名古屋市職員対応要領を事例にー 磯部 友彦	障害者における公共交通機関での ICカード全国共通利用の検討 井上 俊孝
5	精神障害者グループホームと利用施設の 立地状況における課題 三浦 春菜	交通機関における障害者差別解消法の課題 松原 淳	
休憩(15分)			



発表プログラム

8月7日(日) 14:00~16:45

時 間	発表順	多目的 会議室1	多目的会議室2	多目的会議室3・4	
14:00~ 15:15	セッション名 座長名	事務局	MS5A:教育・人材育成2 座長: 宮崎 幸恵(東海学園大学)	MS5B:観光地・観光バリアフリー1 座長: 沼尻 恵子(国土技術研究センター)	
	1		高齢者と住民力に関する研究 青山 美智子	クルージングトレイン等におけるバリア フリー化の事例研究 ~E26系客車を事例として~ 武者 圭	
	2		障害当事者との協働による小学校ユニバーサル デザイン体験教室の企画運営に関する考察 ~練馬区における取組みを通して~ 田端 友紀子	車いすユーザーが体験した 香港のバリアフリー 山名 勝	
	3		インクルーシブデザインの実践と課題 明石高専専攻科でのケーススタディ 大塚 毅彦	特別支援学校の修学旅行における課題 抽出ー教員の意識調査に基づく分析ー 田中 絵里子	
	4		障害者差別解消法への金融機関における 対応事例の研究 平田 賢典	ユニバーサル・ツーリズムによる新たな 社会的ネットワークの可能性 石塚 裕子	
	5		心のバリアフリー施策に関する 行政職員の意識構造 松村 暢彦	ユニバーサルツーリズムに対応する 地域内連携モデル 中子 富貴子	
休憩(15分)					
15:30~ 16:45	セッション名 座長名	事務局		MS6B:観光地・観光バリアフリー2 座長: 大塚 毅彦(明石工業高等専門学校)	
	1			車いすユーザーによる店舗施設のアクセシビ リティ調査、及び効果的な情報公開のあり方ー情報 のバリアを解消する、当事者目標活用の考察ー 大塚 訓平	
	2				イタリアにおける当事者参加の街づくり ー歴史的街区の事例(トスカーナ州ピサ市)ー 橋本 彼路子
	3				歴史的建造物等における バリアフリー整備について 山本 早織
	4				歴史遺産のアクセシビリティ水準は どう考えるべきか 古瀬 敏
	5				
18:00~市電シネマ					

8/7
(日曜日)
PM

時 間	発表順	スタジオ1・2	スタジオ3・4
14:00~ 15:15	セッション名 座長名	SS5B:地域社会・生活支援2 座長: 神吉 優美(奈良県立大学)	SS5A:まちづくりとユニバーサルデザイン1 座長: 澤田 大輔(交通エコロジー・モビリティ財団)
	1	高齢者見守りサービスと一体化した買物支援交通に関する調査ー青森県鯉ヶ沢町の実証運行の取組みよりー 森 和也	人口流動からみた中核都市の現状と課題に関する一考察 今田 寛典
	2	認知症者の外出と交通機関における対応の考察 松原 淳	地方公共交通のバリアフリー化における地方財政の貢献ーフランスの経験からの含意ー 南 聡一郎
	3	母子生活支援施設と地域の連携に関する一考察 長谷川 万由美	福祉、医療、子育ての視点からみる立地適正化計画 小林 敬樹
	4	過疎化の進む山間集落における住民の生きがいづくりの過程ー創作活動の意味変容に着目してー 丹間 康仁	日本、中国、韓国におけるユーザー参加のバリアフリー環境に関する考察 高橋 儀平
	5	聴覚障害者も会議に参加しやすい環境を求めて 三谷 信之	練馬区における「地域福祉パワーアップカレッジねりま」の取組について 稲永 陽子
休憩(15分)			
15:30~ 16:45	セッション名 座長名	SS6B:防犯・防災・安全 座長: 北川博巳(兵庫県立福祉のまちづくり研究所)	SS6A:まちづくりとユニバーサルデザイン2 座長: 長野 博一(荒川区役所)
	1	アンケート調査からみた地域防災計画等における応急仮設住宅対策ー高齢者・障がい者等に配慮した民間仮設住宅の供与の方策に関する研究 その3 阪東 美智子	介助犬のひろばの取り組みを通じた顔の見える連携作り 剣持 悟
	2	被災後の避難所の整備の状況 ー岩手県の2市を例としてー 狩野 徹	アートから広げるユニバーサルデザインー「世田谷UDスタイル探訪ワークショップ」の報告ー 高野 由記
	3	共同住宅における高齢者等の火災時の避難支援に関する研究 ー高齢者、子ども連れに対する火災時の避難に関する意識調査ー 沼尻 恵子	住民参加型の点検と助言による施設改善に関する研究 ー兵庫県におけるチェック&アドバイス制度を事例として(その3) ー 宮野 順子
	4	自動火災報知設備におけるカラーユニバーサルデザインの実施 渡辺 俊介	当事者の視点を取り入れた公共施設設計の実施と課題(その1)ー練馬区福祉のまちづくりの推進に係る区民意見聴取事業の概要と変遷についてー 三谷 千瀬
	5	災害図記号の理解度・視認性等に関する評価の調査について 北野 知裕	当事者の視点を取り入れた公共施設設計の実施と課題(その2)ー運営面から見た区民意見聴取事業を行う際のポイントと課題についてー 大場 奈央
18:00~市電シネマ			



開催概要

大会タイトル

モビリティと福祉のまちづくり

会期

2016年8月5日(金)~7日(日)

会場

函館市民会館3F小ホール及び函館アリーナ サブアリーナ

主催

(一社)日本福祉のまちづくり学会

大会長: 葦澤 憲吉(函館工業高等専門学校名誉教授)

実行委員長: 鈴木 克典(北星学園大学経済学部教授)

後援

内閣府、文部科学省、厚生労働省、経済産業省、国土交通省、北海道、函館市、(一社)日本建築学会、(公社)土木学会、日本生活支援工学会、(一財)国際ユニヴァーサルデザイン協議会 IAUD、(公社)日本都市計画学会、(公財)交通エコロジー・モビリティ財団、(一社)日本リハビリテーション工学協会、(一財)国土技術センター、(一社)日本人間工学会、(一社)日本社会福祉学会、(一社)北海道開発技術センター、(一社)シーニックバイウェイ支援センター

協賛団体

(株)ドーコン、株式会社近代設計、株式会社構研エンジニアリング、株式会社ジーティーアドバンス、株式会社高橋組、株式会社北海道グリーンメンテナンス、株式会社キクテック、パシフィックコンサルタンツ株式会社北海道支社、有限会社サクラ工芸

広告協賛団体

(株)ドーコン、株式会社澄建築設計事務所、株式会社高橋組、株式会社北海道グリーンメンテナンス、株式会社キクテック、株式会社高木組、錦城護謨株式会社、北星学園大学、北海道科学大学、北海道科学大学 北海道自動車学校

展示協賛団体

株式会社キクテック、錦城護謨株式会社、グループリビング運営協議会、国際航業株式会社、田島ルーフィング株式会社

※協賛団体は、五十音順で記載させていただいております。

大会主旨

「移動」というキーワードは、人々の生活においてきわめて重要であり、これが無い場合には暮らすことが不可能となる。この観点から、これまでは、徒歩に類する手段を前提として、誰もが容易に円滑に連続して移動が可能となることを議論してきた。しかし、近年ではセグウェイに代表される新たなモビリティの研究開発が進められ、これら移動システムの日常生活への導入も間近となってきている。一方で、少子高齢化に伴う地域医療の衰退に伴い過疎地、農漁村地域において高次医療へのアクセスにドクターヘリ、飛行艇・水上飛行機の活用など、これまでに無いモビリティの導入、検討も進められている。さらに、災害時に住民が避難するに当たって避難経路やモビリティの設定が必要であることが東日本大震災時に露呈した。すなわち、今後の福祉のまちづくりにおいて、多様なモビリティを実現する移動システムの活用・導入と連携が重要なポイントとなると考え、本大会のテーマとした。

参加費 (概要集:CD-ROM付き)

		会 員	非会員
参加費	一般	事前:8,000円 当日:10,000円	事前・当日ともに:10,000円
	学生	事前:2,000円 当日:3,000円	事前・当日ともに:3,000円
懇親会費	一般	事前:7,000円 当日:8,000円	
	学生	事前:3,000円 当日:7,000円	

お問合せ

■ (一社)日本福祉のまちづくり学会 北海道支部函館全国大会事務局

〒001-0011
北海道札幌市北区北11条西2丁目2-17 セントラル札幌北ビル 3階
(一社)北海道開発技術センター 調査研究部内
TEL:011-738-3363 FAX:011-738-1889
e-mail:fukumachi-hokkaido@decnet.or.jp

■日本福祉のまちづくり学会大会ヘルプデスク

〒162-0801 東京都新宿区山吹町358-5
アカデミーセンター
e-mail:jais-desk@bunken.co.jp



開催概要

交通アクセス

●函館市民会館

3F小ホール

函館市湯川町1-32-1

TEL:0138-57-3111

FAX:0138-57-3115

●函館アリーナ

サブアリーナ・武道館

函館市湯川町1-32-2

TEL:0138-57-9734(代)

FAX:0138-57-3115

最寄り駅からのアクセス

●函館市電

「函館駅前乗車～函館アリーナ」
(所要時間約40分)

[市民会館]

「函館アリーナ」電停から
徒歩約3分

[函館アリーナ]

市民会館となり

●タクシー(所要時間約20分)

函館空港からのアクセス

●路線バス(函館バス)

「函館空港1番乗り場」にて
【空港循環バス とびっこ】
(五稜郭回り)に乗車～

「市民会館・函館アリーナ前」
下車(所要時間約20分)

●タクシー(所要時間約10分)



函館市民会館



函館アリーナ

[交流会会場]

花びしホテル

函館市湯川町1-16-18

TEL:0138-57-0131

FAX:0138-57-2272



函館路面電車【低床車両の運行時刻表】

8/5
(金)

函館駅前 発	12:11→(16分)→五稜郭公園前12:27→(12分)→函館アリーナ前12:39
	12:17→(16分)→五稜郭公園前12:33→(12分)→函館アリーナ前12:45
	12:23→(16分)→五稜郭公園前12:39→(12分)→函館アリーナ前12:51

函館アリーナ前 発	※注意※16:00~20:00 電停:松風町~函館駅前 は歩行者天国のため運行休止
	18:07→(12分)→五稜郭公園前18:19→(12分)→松風町18:31
	18:13→(12分)→五稜郭公園前18:25→(12分)→松風町18:37

8/6
(土)

函館駅前 発	8:29→(16分)→五稜郭公園前8:45→(12分)→函館アリーナ前8:57
	8:35→(16分)→五稜郭公園前8:51→(12分)→函館アリーナ前9:03
	8:41→(16分)→五稜郭公園前8:57→(12分)→函館アリーナ前9:09

函館アリーナ前 発	17:19(谷地頭行き)→(12分)→五稜郭公園前17:31→(16分)→函館駅前17:47
	17:25(どっく行き)→(12分)→五稜郭公園前17:37→(16分)→函館駅前17:53
	17:37(どっく行き)→(12分)→五稜郭公園前17:49→(16分)→函館駅前18:05

湯の川温泉 発	21:01(どっく行き)→(13分)→五稜郭公園前21:14→(16分)函館駅前21:30
	21:24(谷地頭行き)→(13分)→五稜郭公園前21:37→(16分)函館駅前21:53

8/7
(日)

函館駅前 発	8:29→(16分)→五稜郭公園前8:45→(12分)→函館アリーナ前8:57
	8:35→(16分)→五稜郭公園前8:51→(12分)→函館アリーナ前9:03
	8:41→(16分)→五稜郭公園前8:57→(12分)→函館アリーナ前9:09

函館アリーナ前 発	17:07(谷地頭行き)→(12分)→五稜郭公園前17:19→(16分)→函館駅前17:35
	17:13(どっく行き)→(12分)→五稜郭公園前17:25→(16分)→函館駅前17:41
	17:25(どっく行き)→(12分)→五稜郭公園前17:37→(16分)→函館駅前17:53

【注意事項】

- ◆1車両に車いすスペースは2名までとなります。
- ◆函館市が所有する低床車両は3台、部分低床車両が1台。整備問題が発生した場合運行できない可能性があります。
- ◆函館駅前・五稜郭公園前電停はバリアフリーになっていますが、そのほかの電停は狭く、段差があります。
- ◆車いすで介助者が付かずに乗車する場合は、乗車する電停と乗車時刻を事前に連絡をお願いします。(特に電動車いすの方) 担当: 國田氏0138-52-1273、事務局佐藤080-1886-7099)
- ◆会期中は、函館市内のイベントが重複しており、また低床車両は乗降に時間を要するため運行時刻が遅れる場合があります。予めご了承願います。



福祉タクシー

【一般社団法人 南北海道福祉ハイヤー協会】

【予約・お問合せ】電話0138-49-0410、FAX:0138-49-0437

直通電話(携帯 090-3898-9270)

【お問合せ時間】8:30~18:00

ホームページは
こちら→





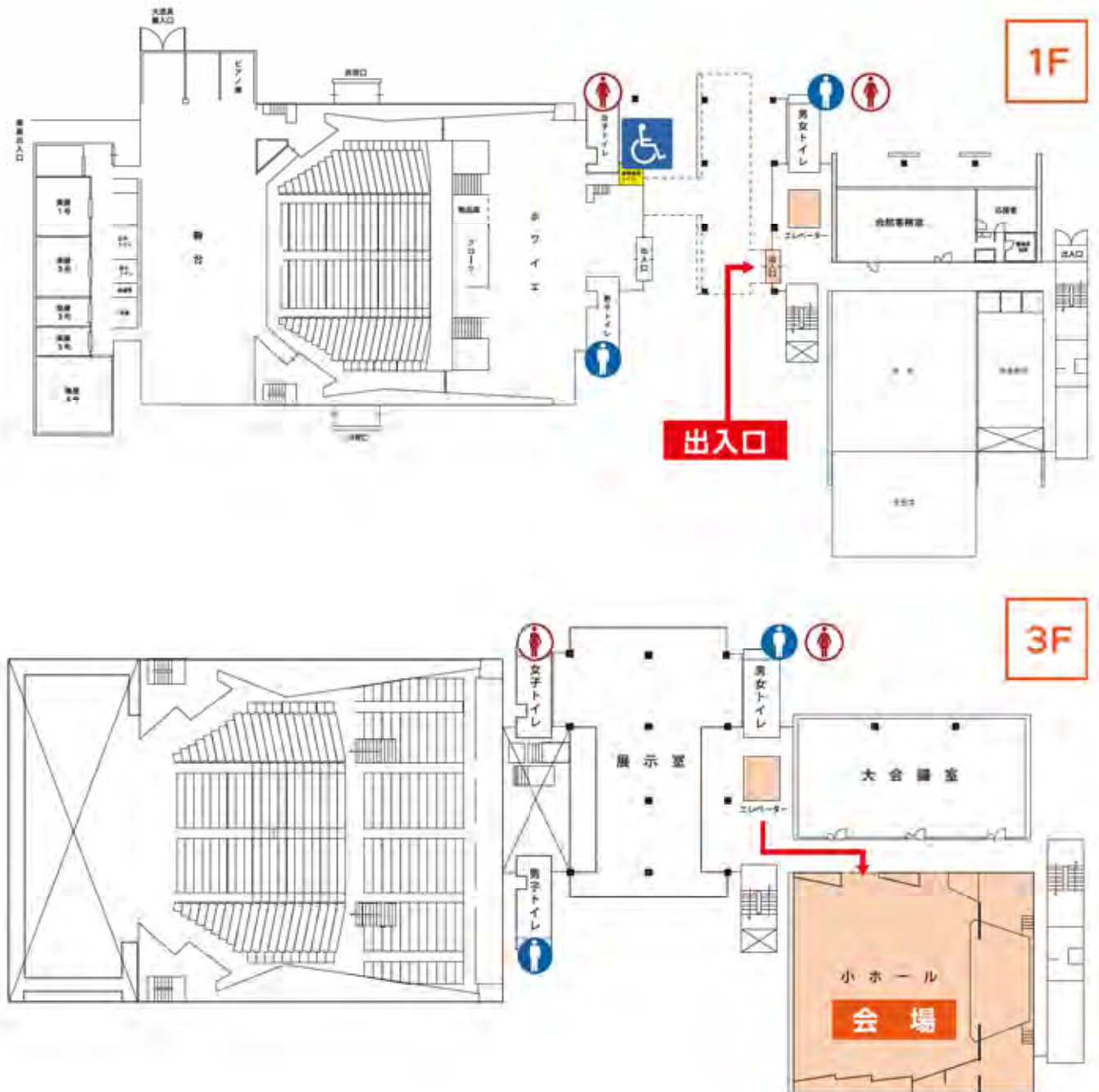
開催概要

会場案内

● 函館市民会館

[学会賞授賞式・市民公開シンポジウム・ユニバーサル上映映画会]

トイレ: 男子トイレ 女子トイレ 多目的トイレ



●函館アリーナ サブアリーナ

[研究発表・展示会・休憩スペース]

喫煙スペース: トイレ: 男子トイレ 女子トイレ 多目的トイレ



多目的会議室1
事務局
受付
 [8/6(土) 11:00~]
 [8/7(日) 8:30~]

多目的会議室2
研究発表・研究討論会

多目的会議室3・4
研究発表・研究討論会

武道館A
受付
 [8/6(土) 8:30~11:00]
展示会
休憩スペース



スタジオ1・2
研究発表・研究討論会

スタジオ3
研究発表・研究討論会

スタジオ4
研究発表・研究討論会



研究討論会

研究討論会 1

テーマ：資格試験～差別解消に向けて

(各種国家資格試験での障害者特別措置に関する特別研究委員会)

●日時・会場

- 日時／8月6日(土) 15:30~17:00
- 会場／函館アリーナ サブアリーナ内 多目的会議室2

●概要

障害のある方もない方も、等しく能力を発揮し資格試験を受験し、取得した資格を様々な場面で活かせる社会を目指して研究討論会を行う。理系的資格や文系的資格など資格の種別視点で捉えた討論。また身体障害や虚弱、発達障害など障害別視点で捉えた討論。そして資格取得に至る教育や取得後の職場環境視点で捉えた討論など、多岐に亘った内容。

●コーディネータ

- 田中賢(日本大学)

●講演者

- ①古瀬敏(静岡文化芸術大学)
「資格試験での障害者特別措置について1」
- ②長谷川万由美(宇都宮大学)
「資格試験での障害者特別措置について2」
- ③鳥山剛(広島大学)
「大学での合理的配慮の現状と課題について」
- ④渡辺崇史(日本福祉大学)
「障害者が資格を活かして社会で活躍するために」

研究討論会 2

テーマ：「情報」は地域公共交通を変革するか

(地域福祉交通特別研究委員会)

●日時・会場

- 日時／8月6日(土) 15:30~17:00
- 会場／函館アリーナ サブアリーナ内 多目的会議室3・4

●概要

地域公共交通サービスの持続的な提供が課題となるなか、ICカードの普及や経路検索サイトの高度化などを背景に、データに基づいてマネジメントすることが現実的になってきた。一方で、「シェアリングエコノミー」が地域交通の分野でも話題になりつつある。本討論会では、地域交通と情報の「接点」で活躍しておられる方々に登壇いただき、「情報」が地域公共交通に与えるインパクトや可能性を語りあう。

●コーディネータ

- 吉田 樹(福島大学)

●講演者

I. 基調報告

「地域公共交通に関する最近の動向」吉田 樹(福島大学)

II. ディスカッション

- ① 坂本 邦宏(イーグルバス株式会社)
- ② 井上 佳国(ジョルダン株式会社)
- ③ 森口 将之(モータージャーナリスト)



研究討論会

研究討論会 3

**テーマ：国際空港における移動のための情報提供のあり方を考える
—2020年東京オリンピック・パラリンピック開催に向けて—
(身体と空間特別研究委員会)**

●日時・会場

- 日時／8月6日(土) 15:30~17:00
- 会場／函館アリーナ サブアリーナ内 スタジオ1・2

●概要

本委員会は、第18回全国大会の研究討論会において、ICTの現状と将来像に関する議論をおこなった。その議論をさらに深め、東京国際空港国際線ターミナルビルの施設内に実現ないし応用できることを探るための議論をおこないたい。

●コーディネータ

- 原 利明(鹿島建設株式会社)

●講演者

- ①伊藤精英氏(はこだて未来大学)
- ②伊藤納奈氏(国立研究開発法人産業技術総合研究所)
- ③船場ひさお氏(岩手大学)
- ④矢野喜正氏(矢野住環境研究所)
- ⑤原 利明(鹿島建設株式会社)

研究討論会 4

テーマ：新しいモビリティがみせる未来 (北海道支部)

●日時・会場

- 日時／8月6日(土) 15:30~17:00
- 会場／函館アリーナ サブアリーナ内 スタジオ3・4

●概要

本討論会では、新しいモビリティの技術開発に期待する未来とそれを活用する都市整備、また、公道走行に必要な課題を整理し、パーソナルモビリティや自動運転技術が活躍する未来について3名のパネリストから最新の情報とこれらかの課題について活発な討論をしていただく。

●コーディネータ

- 石田眞二(北海道科学大学工学部都市環境学科)

●講演者

- ①鎌田 実(東京大学大学院新領域創成科学研究科)
「自動運転技術や超小型モビリティの研究紹介」
- ②浜 克己(函館工業高等専門学校生産システム工学科)
「移動を直接補助するパワーアシスト技術の紹介」
- ③鶴賀 孝廣(つくば市科学技術振興部科学技術・特区推進課産業コーディネーター)
「つくば市のロボット特区から全国展開を実現した事例紹介」



研究討論会

研究討論会 5

テーマ：障害者虐待防止法運用の現状と今後
—障害者差別解消法が施行された年に—
(身体と空間特別研究委員会)

●日時・会場

- 日時／8月7日(日)9:30~11:00
- 会場／函館アリーナ サブアリーナ内 スタジオ3・4

●概要

2012年の施行後3年経過の見直し時期を迎えた障害者虐待防止法の内容と運用の実績を知り、事例を通して課題について整理することで、虐待防止にむけた今後のあり方を探る。

●コーディネータ

- 小山聡子(副会長、学術研究委員会委員)

●講演者

- ①曾根直樹(厚生労働省虐待防止専門官)

「障害者虐待防止法の成り立ちと現状(含:全国調査)」

- ②上田晴男(NPO法人PASネット 理事長)

「権利擁護でまちづくりー虐待防止と誰もが暮らしやすい地域の取り組みー」



実行委員名簿

大会長

蕪澤 憲吉 (函館工業高等専門学校名誉教授)

実行委員会

[委員長] 鈴木 克典 (北星学園大学経済学部教授)

[副委員長] 澄 信一 (株式会社澄建築設計事務所)

横山 哲 (株式会社ドーコン)

[委員] 石田 眞二 (北海道科学大学)

石橋 達勇 (北海学園大学)

折谷 久美子 (NPO法人スプリングボードユニティ21)

北林 亨 (一般社団法人南北海道福祉ハイヤー協会)

橋本 和幸 (北海道ユニバーサル上映映画祭実行委員会)

原文宏 (一般社団法人北海道開発技術センター)

[事務局] 伊藤信之、工藤みゆき、佐藤好子、鹿野たか嶺、山根丈明

(一般社団法人北海道開発技術センター)

[本部事務局] 清水 政司 (一般財団法人地域開発研究所)

小林 佳代 (学会事務局)

清流 [美々川]

地下水から川が生まれ、温泉の中を迂行し、
生き物の宝庫ワトナイ湖につながるこの美々
川は、広大な石狩低地帯においても唯一の原
始河川として、その美しい姿を競っています。

豊かな人間環境の創造に貢献



総合建設コンサルタント

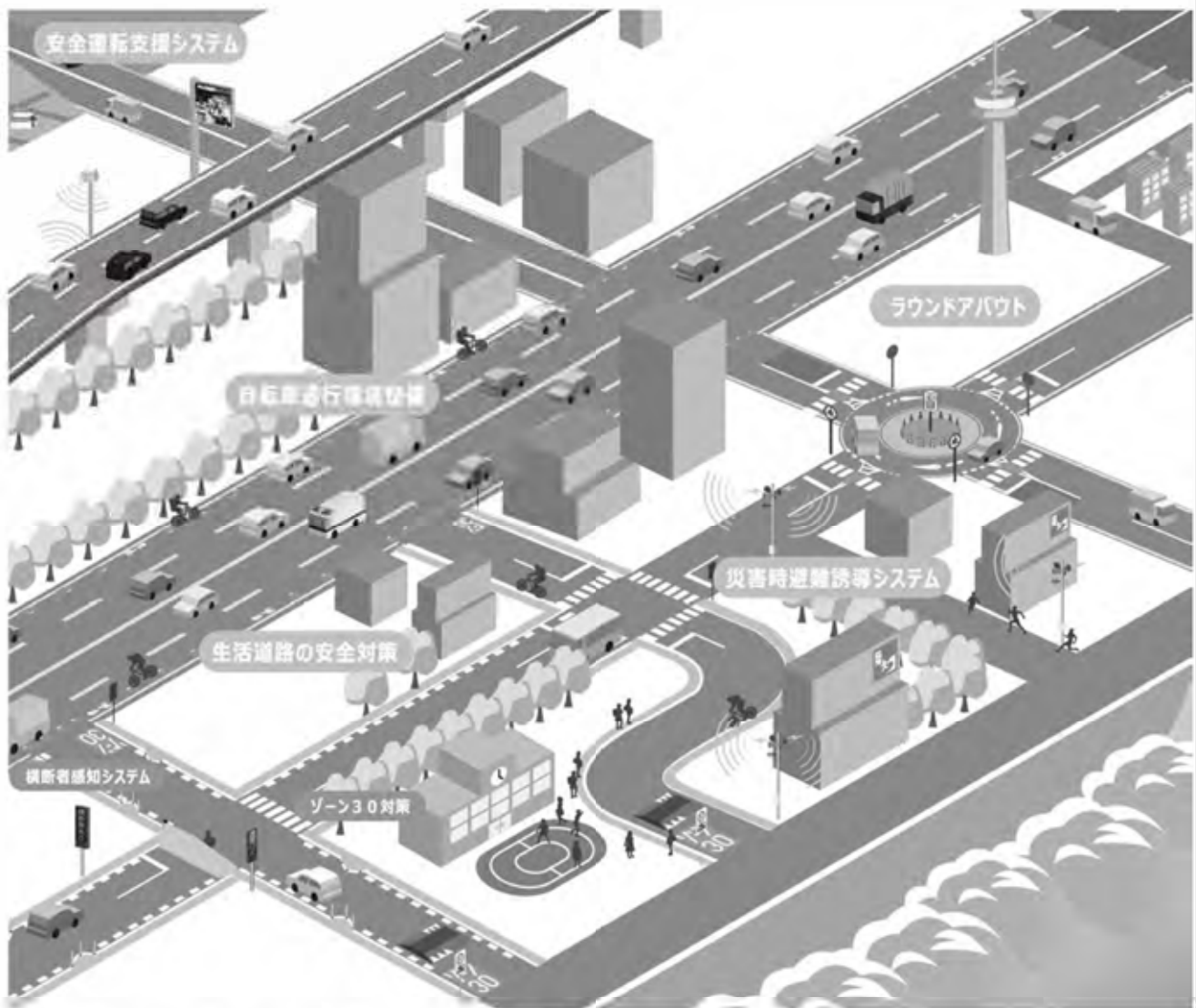
株式会社 ドーコン

本社 / 〒004-8585 札幌市厚別区厚別中央1条5丁目4番1号
TEL.011-801-1500 FAX. 011-801-1600
URL <http://www.docon.jp>

道路標示、標識から安全・あしんな未来を



キクテックが創る ICT・ITS 社会



公共環境を表現する

株式会社 キクテック

URL <http://www.kictec.co.jp>



本 社
〒457-0836 名古屋市南区加福本通1丁目26番地
TEL 052-611-0680 FAX 052-613-3934

東京本社
〒102-0093 東京都千代田区平河町2丁目12番5号
TEL 03-5226-0088 FAX 03-5226-2152

中部事業所
〒470-2295 愛知県知多郡阿久比町大字卯坂字梅ヶ丘150番地
TEL 0569-48-1145 FAX 0569-48-8255

ICTセンター
〒349-0202 埼玉県白岡市荒井新田字瀬1111番地7
TEL 0480-31-8222 FAX 0480-90-0088

東京支店 03-3690-1501
大阪支店 072-987-2241
静岡支店 054-282-1856
愛知支店 0569-48-8078
三重支店 059-232-6131
岐阜支店 058-272-6833
札幌営業所 011-741-8848
盛岡営業所 019-652-6222

埼玉営業所 0480-31-8222
横浜営業所 045-943-4161
新潟営業所 025-280-1511
長野営業所 026-256-8025
金沢営業所 076-262-1157
浜松営業所 053-475-3396
名古屋SP営業所 052-611-0737
豊橋営業所 0532-57-3631

兵庫営業所 078-882-9708
西日本事業所 086-253-2538
広島営業所 082-263-0561
九州事業所 092-472-2012
熊本営業所 096-380-5528
仙台標識工場 022-241-4712
キクテック(仙台) 022-241-4661

— 建築・設計・監理・インテリア —
(医療・福祉・生産施設・店舗等)



株式会社 澄建築設計事務所

〒040-0065

函館市豊川町 21 番 7 号

Tel (0138) 22-2171 Fax 22-2173

URL <http://www.sumi-arc.com/>

札幌

札幌市中央区南 11 条西 1 丁目 5-16

カサ・ウイスタリタ 1119

Tel (011) 521-5517 Fax 521-5527

東京

東京都新宿区高田馬場 4 丁目 17-15

トーヨービル 709

Tel (0422) 46-1619 Fax (03) 3371-7281

お客様に更なる信頼をISO9001認証取得



株式会社 高木組

代表取締役社長 中田 俊一郎

地域の皆さんと一緒に歩む

高木組はそう願っています。

本 社 〒040-0036函館市東雲町 1 9 番 1 3 号

☎(0138) 22-1195(代)

札幌支店 / 〒007-0834札幌市東区北34条東1丁目1番21号

☎(011) 752-0511(代)

URL <http://www.takagigumi.jp>

充実した生活環境を提供する

 株式会社 高橋組

代表取締役社長 高橋 則行

本 社 〒040-0024函館市高盛町3番20号

TEL 0138-52-2247

FAX 0138-52-2619

北斗支店 北斗市七重浜8丁目30番4号

札幌支店 札幌市中央区北4条東2丁目8番6号

TEL 011-271-6870

URL <http://takahashigumi.hakodate.jp>

E-mail takahasikum@host.or.jp

ISO 9001・14001 認証取得

Coca-Cola®

「優しく・美しい」快適な生活環境を創造する



株式会社
北海道グリーンメンテナンス



代表取締役 大野 宇樹

〒007-0884 札幌市東区北丘珠4条3丁目 10-20

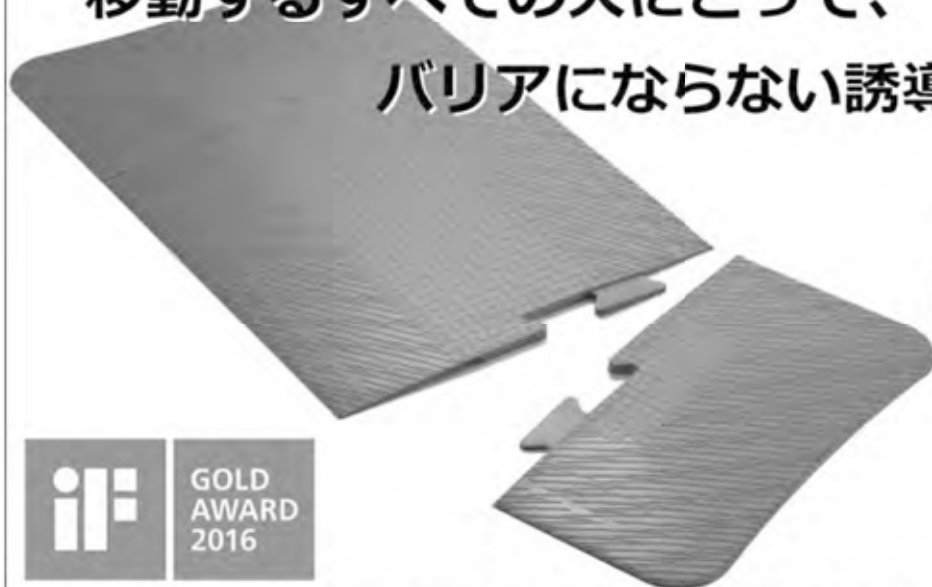
TEL: 011-781-2530 URL: <http://www.do-green.co.jp>



HODOHKUN Guideway

移動するすべての人にとって、

バリアにならない誘導ソフトマット



函館アリーナ様
和歌山ビッグ愛様などで
ご利用頂いております。



GOLD
AWARD
2016

製造・販売：錦城護謨株式会社 土木事業本部（ホドウクン担当）
大阪府八尾市跡部北の町 1 丁目 4 番 25 号

TEL: 072-992-2328 FAX: 072-922-4175 Mail: info_doboku@kinjogomu.jp 開発：トーフ株式会社



夢を夢のままにしない。
未来を、未来のままにしない。

北星学園大学 北星学園大学短期大学部

キャンパス説明会

同日開催
保護者説明会

第2回 **8/6** [sat]
第3回 **9/24** [sat]

[12:40~16:00]
◎参加申込みはHP、お電話をご利用ください。

大学院

文学研究科 / 経済学研究科 / 社会福祉学研究科

文学部

英文学科 / 心理・応用コミュニケーション学科

経済学部

経済学科 / 経営情報学科 / 経済法学科

社会福祉学部

福祉計画学科 / 福祉臨床学科 / 福祉心理学科

短期大学部

英文学科 / 生活創造学科



Hokusei Gakuen University

北星学園大学

北星学園大学短期大学部

〒004-8631 札幌市厚別区大谷地西2丁目3番1号
TEL. (011)891-2731 [代表]
URL. <http://www.hokusei.ac.jp>



北海道科学大学

北海道科学大学短期大学部

+Professional

工 学 部	機械工学科 情報工学科 電気電子工学科 建築学科 都市環境学科
保健医療学部	看護学科 理学療法学科 義肢装具学科 臨床工学科 診療放射線学科
未来デザイン学部	メディアデザイン学科 人間社会学科
短期大学部	自動車工学科

www.hus.ac.jp 〒006-8585 札幌市手稲区前田7条15丁目4-1
TEL 011-681-2161 (代表)

◎北海道科学大学 北海道薬科大学 北海道薬科大学附属薬局
北海道科学大学高等学校 北海道自動車学校

北海道公安委員会指定第1号校
技能試験免除

札幌市豊平区中の島2条6丁目
[Tel] (011)821-0172
[Mail] douji@douji.ac.jp




北海道自動車学校

+Professional

[教習車種] 普通車・自動二輪・大型特殊



◎北海道科学大学 北海道科学大学
北海道科学大学短期大学部 北海道薬科大学
北海道薬科大学附属薬局 北海道科学大学高等学校



MODEL HOUSE
予約見学会毎日開催
☎0120-16-1613



輸入仕様のハイイデア

株式会社

小倉工務店



